学校番号	209

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳世界史探究						
副教材等	帝国書院（発行）「明解世界史図説　エスカリエ　十一訂版」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・事象を暗記するのではなく、流れとして理解する。
・事象の因果関係を意識して学習する。
・現在とこれからの世界を認識するうえで、先人達の経験＝歴史を学習して指標とする。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる諸事情について理解するとともに諸資料から世界の近現代史に関する情報を適切にまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる事象の意味・意義・特色などを考察したり、現代まで続く歴史にみられる諸課題を把握し、解決をめざして構想する力や、その考察・構想を効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと、特に近現代の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、特に近代において生まれ、現代まで続く様々な課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	過去から現在まで続く文化・宗教などを知識として歴史的に把握し、それらを多角的にとらえて理解することができる。	世界史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったりまとめたりすることができる。 現代世界の諸問題を歴史的に考察し、事象を多角的な視点からとらえて公正に判断することができる。	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲を持って学習に取り組むとともに、自ら歴史的事象を調べるなど主体的な学習活動をめざす。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	諸地域世界の形成と交流	・オリエント世界と地中海世界の形成 ・東アジア・東南アジア世界の形成 ・南アジア世界の形成 ・イスラーム世界の形成	(a)諸地域での文明の形成とその後の発展について、独自の文化・社会・歴史の流れを理解できる。 (b) 東西文化の交流について、多角的に考察できる。 (c)歴史的建造物や資料を利用して、それぞれの地で発展した歴史や文化・宗教について主体的に調べまとめることができる。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	提出物 調べ学習レポート
2	海洋による世界の一体化	・ヨーロッパ世界の形成 ・アジア諸地域の栄華と成熟 ・大航海時代 ・ルネサンスと宗教改革	(a)大航海時代やルネサンスの人物、目的などについて、理解できる。 (b)世界の一体化へと向かう歴史の大きな流れについて理解できる。 (c)当時の異文化交流について、当時の資料を用いて、主体的に考察することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	提出物 調べ学習レポート
3	海洋による世界の一体化	・ヨーロッパ諸国の主権強化と大西洋三角貿易	(a)主権国家出現の諸要因（イギリスの市民革命など)を理解できる。 (b)主権国家体制ができた背景について、考察できる。 (c)大西洋三角貿易が現在に与える影響について、現在のデータや当時の資料を読解して考察できる。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	提出物 調べ学習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度